



広島大学平和科学研究センター主催  
広島平和文化センター平和記念資料館 共催



## 公開市民講座

# 原爆被害とは何か、 ヒロシマは何を継承するのか

### 【講演者】

川野 徳幸	広島大学平和科学研究センター センター長
原田 浩徳	広島大学平和科学研究センター客員研究員 東京薬科大学生命科学研究室教授
志賀 賢治	広島平和記念資料館 館長
Luli van der Does	広島大学平和科学研究センター外国人客員研究員 日本学術振興会外国人特別研究員

【日時】 平成30年3月10日(土)13時～17時  
【会場】 広島平和記念資料館東館 地下1階 メモリアルホール  
【対象】 どなたでも  
【参加費】 無料

【お申し込み方法】 電話、郵便はがき、FaxまたはE-mailで、氏名、連絡先、手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨を、2月28日(水) (必着)までに、広島大学平和科学研究センターへ。

### 【お問い合わせ先】

広島大学平和科学研究センター  
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89  
電話: 082-542-6975  
FAX: 082-245-0585  
E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



## 公開市民講座

# 原爆被害とは何か、 ヒロシマは何を継承するのか

原爆投下の「あの日」から73年、被爆者は、想像を絶する苦難や憎しみを乗り越えて、核なき世界平和の実現という重責を担ってきました。そして、先般のICANのノーベル平和賞受賞によって、その重責はあらためて注目され、評価されました。しかし、被爆者のみに頼っていた時代は未来永劫続くわけではありません。原爆被爆被害の体験者である被爆者の総人口は年々減少し、ついに16万人となりました。そういった今だからこそ、「原爆体験」とその基盤にある「原爆被害」とは何だったのか再検証し、ヒロシマにとって、今日的課題である被爆体験継承に取り組む必要があります。この公開市民講座を通し、原爆被害とは何か、ヒロシマは何を継承し何を繋いでいくのかを、あらためて考えます。

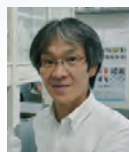
13:00-13:10 開会の挨拶

13:10-13:55 原爆被害とは何か



川野徳幸 (Noriyuki Kawano) : 広島大学平和科学研究センター センター長・教授。広島大学原爆放射線医学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から同センター教授、2017年4月、センター長に就任。医学博士。専門は原爆・被ばく研究、平和学。

13:55-14:40 原爆後障害と血液がん ~骨髄異形成症候群とは~



原田浩徳 (Hironori Harada) : 広島大学平和科学研究センター客員研究員、東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室教授。広島大学原爆放射線医学研究所血液内科助手・助教・講師、順天堂大学医学部内科学教室血液学講座准教授等を経て、2016年7月東京薬科大学生命科学部教授に就任。医学博士。専門は骨髄異形成 症候群の診療と研究、放射線生物影響学。

14:40-14:55 休憩

14:55-15:40 記憶の継承 — 次世代に引き継ぐ資料館を目指して



志賀賢治 (Kenji Shiga) : 広島平和記念資料館館長。1978年名古屋大学法学部卒業、同年広島市役所採用。広島市立大学事務局長、健康福祉局長、人事委員会事務局長などを歴任し、2013年3月広島市役所退職。同年4月より現職。

15:40-16:25 原爆体験と「こころ」の軌跡を伝えるために



ファン・デル・ドゥースルリ (Luli van der Does) : 広島大学平和科学研究センター外国人客員研究員、日本学術振興会特別研究員。エジンバラ大学言語科学修士、ケンブリッジ大学応用言語学修士、シェフィールド大学社会科学博士。専門は社会心理言語学、多領域横断的言説分析。共著に Excavating the Power of Memory in Japan (2016年Routledge)、「戦争への終止符」(2016年法律文化社)など。

16:25-16:55 総合討論

16:55-17:00 閉会の挨拶

ご氏名		<b>&lt;お申し込み先&gt;</b> 広島大学平和科学研究センター 〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 電話: 082-542-6975 Fax: 082-245-0585 E-メール: heiwa@hiroshima-u.ac.jp
ご連絡先 (ご住所、 e-mailなど)		
手話通訳・要約筆記	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	